

首都圏在住者が旧交を温めた「東京登別げんきかい」の総会



登別懐かしみ懇談

H23.11.15 新道 東京でげんきかい総会

首都圏に住む登別出身者でつくる「東京登別げんきかい」(竹村勝彦会長、約470人)の本年度総会と懇親会が12日、東京都大田区の羽田空港のギャラク

に任命し、ヒグマの写真をあしらった名刺を作成したことを報告、「ふるさと登別のPRに力を尽くす」と語り、また小笠原春一市長は「登別の応援に深く敬意を表したい」と

会員有志が古里PRへ

東京登別げんきかい

くまっこ 観光大使

H23.11.15 皇民 【東京】首都圏在住の登別出身者で構成する「東京登別げんきかい」(竹村勝彦会長)の第23回情報交換会・総会・懇親会が12日、



東京都大田区の羽田空港第1旅客ターミナルビルで開かれた。新たな取り組みとして、会員有志が「登別くまっこ観光大使」として登別のPRに一役買う。約100人が出席。登別からは小笠原春一市長や高橋正美市議会議長、上田俊朗登別商工会議所会頭らが駆けつけた。

昌子代表取締役が「東日本大震災後の現状とこれから」の演題で、北海道と登別の観光について講話。登別市からは藤井延之総務部参事とがふるさと納税の状況などを説明した。

「登別くまっこ観光大使」は、ふるさと登別を応援する企画。希望する会員が専用の名刺を使用して観光PRなどを行う。総会の席上、奥村修登別観光協会専務理事が57人に名刺を贈った。

懇親会では、恒例の「鬼踊り」や登別ブランド認定推奨品の販売などが行われ、ふるさと談議に花を咲かせていた。(有田太郎)